

JAしまねびより

2018
4
April Vol.25

特集 島根のいいもの再発見!! 「安来市 赤江・オーガニックファーム」 やすき地区本部



Naomichi
安来から望む
春を待つ大山



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



【安来市 赤江・オーガニックファーム】

4月は、やすぎ地区本部。安来市赤江町で、葉物野菜を生産している、赤江・オーガニックファームの代表、岸川勉さんに、お話しをお伺いしてきました。



お話しをお伺いした岸川さん。中島地区の方々への感謝を胸にまっすぐに。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

赤江・オーガニックファームを設立した、きっかけを教えてください。

広島でサラリーマンをしていましたが、平成13年、就農するためにイターンしました。当初から有機栽培に取り組む、平成17年には、県東部のUイタンの新規就農者を中心に組織した「島根おやさい本舗」というグループを設立し、山陰地区をメインに野菜を出荷しています。安来市で就農するメンバーも増加し、出荷量が増加。食の安全・安心の高まりから、有機野菜は県外からの出荷依頼を頂くようになりました。そこで平成27年「赤江・オーガニックファーム」を設立、県外に有機野菜の出荷をはじめました。

現在の栽培規模など、概要を教えてください。

グループの生産者5人でハウスの合計が70棟、164アールの面積で栽培しています。品目は小松菜、水菜、ほうれん草、春菊の4種類の葉物野菜、ミニトマトやオクラ



地区内に所狭しと連なるハウス。



ハウス内で育てられた野菜の色がなんとも言えないほど、美しいという印象でした。

などの夏野菜を少量栽培しています。安来市は、就農支援のサポートが充実しており、現在は県の指導農業者として、新規就農者の研修の受け入れや就農支援も行なっています。グループのメンバー全員が、私の農園で研修した後、中島地区で就農したUイタン者です。グループの設立にあたり、各個人が国の有機JAS認証を取得し、大阪や京

都、岡山などに共同出荷しています。

これまでに苦勞されたことなどありますか？

有機栽培をはじめて16年になります。当初は雑草や害虫などの被害が少なからずあり、苦勞しました。有機栽培の認知度が低く、知人の先駆者に聞いたりしながら、独りでも試行錯誤を繰り返しました。化学肥料や農薬に頼らない「有機」というイメージは、一般的に栽培が大変なイメージを持つ人がいるかもしれません。ただ葉物野菜は、技術体系が確立しているので、失敗はありますが、順調に規模を拡大しています。仮に1棟、ハウスが虫に食べられる被害があっても、年に5〜6回収穫できるので、被害が比較的低く抑えられるのも葉物野菜を選んだ理由です。

安来市で就農して感じたことなどありますか？

なによりも、赤江町内の皆さんの積極的な協力のおかげ

です。私のようなUイーターを快く迎え入れてくださり、中島地区の広くて平らな土地をこれだけ多く使わせていただけるのは、ハウスで栽培する葉物野菜にとって、規模を確保する上で、大きい支えだと感じています。そのため、メンバー全員が地域との繋がりをとても大事に考えており、地元の記事や集会などに積極的に参加しています。また、やさぎ地区本部と連携し、小中学校の給食用として葉物野菜を出荷しています。JA直売所でも販売をはじめており、県外への出荷がメインですが、地元の皆さんにも、有機野菜を広く知ってもらいたいと思っています。

グループの今後の抱負や計画など教えてください。

有機JAS認証を受けている農産物は、現在、全体の0.2パーセントしか流通していないといわれています。安全で安心な美味しい有機野菜を多くの方に食べてもらいたい、という想いから、年々規模を拡大しています。今年



は新たに2人の研修生を迎えるなど、積極的に新規就農者

国の有機JAS認証を受けた野菜の需要は徐々に高まりつつあり、まだまだその市場は大きいという。

赤江・オーガニックファーム ー口メモ

有機野菜とは、農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然の力で栽培した野菜。国の定める有機JAS認証を取得すると、マークを使用することができ「有機〇〇」や「オーガニック〇〇」など表示することができる。赤江オーガニックファームでは、良質なたい肥で土作りにこだわり、太陽熱を利用した消毒で雑草や病害虫を減らすなど、徹底した管理で有機栽培を行なっている。今後、有機野菜は東京オリンピック・パラリンピックなどをひかえて、日本の安心・安全な農作物として需要が見込まれている。



毎週の定例ミーティングに加え、LINEなどを活用し、情報共有を図りながら、メンバー同士の協力体制を確立している。

を受け入れていきます。グループのメンバーが増え、生産量がまとまることで、収穫状況を踏まえて、出荷量を補完し合うことができます。これにより、大きな市場で安定的に出荷することができます。毎

週1回集まって、誰がどこに出荷するかなどの割り当てを話し合っています。この集まりを、もっとたくさんの方にメンバーで行い、多くの方に有機野菜を食べてもらいたいと考えています。

／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

「担い手ドック」のご紹介



JA島根厚生連では、「担い手の方が健康で農業生産に携われる」ことを目的にTACをはじめとする各地区本部の担当者と連携して、平成26年度から「担い手ドック」に取り組んでいます。

この担い手ドックの特徴は、①農閑期に身近な場所で人間ドックが受診できる、②JAオリジナルで充実した検査内容、③JAしまね農業振興支援事業の助成により安価、④総合病院では半日以上かかるドックが約1時間で終了することであり、受診いただいた担い手の方からは好評を得ています。

担い手ドックを開始した当初は、“ドック”の知名度が低く、TACからも「お受けいただくのに苦労した」と聞いていましたが、現在では受診した方から「これは良い。来年度も予約する」と言った声や「お陰で病気が早期に見つかって助かったわ」などの喜びの声がTACに寄せられています。徐々に担い手の方に浸透しており、4年目となる平成29年度は1,042人と今までで最多の方に受診いただきました。

健康管理維持・増進の第一歩は“健診受診”ですが、平成27年度に行ったアンケート結果から、担い手の約45%の方が毎年健診を「受けていない」ことがわかりました。担い手の方の受診環境はまだ十分とは言えません。

今後ともJA島根厚生連は、JAしまねとともに担い手ドックを通して受診機会を提供することで、担い手の皆さまが元気で活躍いただけるよう島根の農業を支えて参ります。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」を実施しています。今月号より、同事業をご活用頂いている方々の事例を連載いたします。

松江市の高橋裕典さん（70）と息子の高橋裕介さん（30） 親子の『ゆうてん農園』をご紹介します。



『ゆうてん農園』は現在、主食用米22ha、飼料用米6ha、WC S用稲5.5ha、野菜0.5ha（キャベツ・白菜・セリ・ブロッコリー）を栽培し水稲中心の農業経営を行っています。

『ゆうてん農園』では平成29年度JAしまね農業振興支援事業によって導入したトラクターを活用し、作業効率の向上を図るとともに、経営規模の拡大、さらには多角的な農業経営の展開を目指しておられます。



このような中、裕介さんは「今後、野菜栽培にも力をいれ、消費者と積極的にコミュニケーションをはかり、ニーズに即した農作物を提供できる生産者になりたい。」と将来への抱負を語っていただきました。

また、裕典さんは「今後、息子には農業経営の多角化に向け、野菜栽培をはじめ、様々な取組に積極的に挑戦してもらいたい。この挑戦と地道な努力が将来の地域農業を守ることに繋がる。」と熱い思いを話していただきました。

（注）WCSとは、稲の実と茎葉を同時に収穫し、発酵させた牛の飼料

理事会情報（2月27日開催）

協議事項

- ① 平成29年度JAしまね農業振興支援事業第5回（2月）申請について
- ② 「平成30年1月からの寒波降雪等の災害」に対する農業施設復興対策支援事業要領の設定について
- ③ 島根県地域共同計算監査委員会の委員選出について
- ④ 平成30年度における農業資金の保証料助成について
- ⑤ 大口貸出金の承認について
- ⑥ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑦ 島根県常例検査書の回答について
- ⑧ JA全国監査機構による期中改善指示事項（期中監査）に対する回答について
- ⑨ 機構改革によるリスク管理基本方針の一部改正について
- ⑩ 新退職金制度への移行にかかる退職給付債務の取り扱いと計算方法の決定について
- ⑪ 地区本部別損益管理にかかる統一事項の取り扱いについて
- ⑫ 職制規程の一部改正について
- ⑬ 平成30年4月1日付け機構改革の実施について
- ⑭ 全農からの資産譲受について
- ⑮ 第4回通常総代会の実施および功労者表彰について
- ⑯ 「一般社団法人ファームサポート美郷」の設立への参画について
- ⑰ 平成30年度地域貢献・地域活性化支援事業について
- ⑱ JAしまね福祉事業に関する運営規程の設定・一部改正・廃止について
- ⑲ 平成30年度JAしまね新規採用職員への対応およびJA島根ユースカレッジ「新入職員課程」の実施について
- ⑳ 平成30年度職員採用方針について
- ㉑ 無期転換ルール適用に伴う就業規則の一部改正について
- ㉒ 平成30年度内部監査計画について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

雲南

高まる食品への関心 講習会で理解深める

雲南農業振興協議会が主催する食品表示・衛生講習会が地区本部管内3カ所で開催。産直会員ら192人が参加し、衛生管理や食品表示法などの理解を深めました。

近年、虫や金属片などさまざまな異物が混入していたというニュースが相次いでおり、消費者はもとより生産者も「安全・安心な食品」への関心を高めています。

講習会では、衛生的な食品の加工や食品表示法に伴う加工品の栄養表示などを、県雲南保健所衛生指導課の今岡愛さんが説明。今岡さんは「多くの人が知り、支え合いながら対応する必要がある」と話しました。

雲南地区本部は年1回、食品の衛生管理や品質向上に向けた講習会を開いています。営農部農産加工課の福田忠課

長は「雲南管内の安全安心な商品がお客様の下へ届くように、周知を徹底していきたい」と意気込みます。



関心の高い内容に多くの人が訪れました

隠岐

JA女子大学 隠岐キャンパス 「隠岐ジオパーク研修会」を開催

3月24日にJA女子大学隠岐キャンパスの第1回目となる講座として「隠岐ジオパーク研修会」を実施しました。ジオパークとは世界的に貴重な地形・地質や美しい自然環境を有し、またそれらをうまく利用した人々の暮らしや文化・歴史があることが条件で認定されるものであり、平成30年1月に再認定を受けたところです。隠岐に暮らしながらも、案外ジオパークを知らない、触れることが少ないということもあり、この研修会での学びを通して、地元の魅力を再発見できばとの思いで企画いたしました。当日は、天候にも恵まれ、実際に自然・文化・歴史がある場所へジオパークガイドの案内のもと巡り、地元の魅力を改めて知ることが出来ました。

JA女子大学隠岐キャンパスでは、今後概ね2カ月ごとに講座等を開催することとしています。



くにびき

くにびき農業法人会 定期総会開催

くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は3月8日、松江エクセルホテル東急で「第7回定期総会」を開催しました。

当日はくにびき管内で組織する16法人の代表者と関係機関から40名が出席。冒頭、岸本会長から「現在、農政の転換期であり、農業法人にとって厳しい状況が続いている。互いに情報を共有し、より良い地域農業を実現していきたい」と挨拶がありました。続いて、新規に加入した農事組合法人林本郷の松浦久年代表理事が今後の抱負を述べました。

総会では、農事組合法人佐々布農産の三島進さんを議長に選任し、今年度の活動報告や来年度の活動計画と収支計画などについて全議案を承認しました。

また、役員改選もあり、会長、副会長、委員がいずれも再任。監事には農事組合法人やわたファームの青砥忠一代表理事組合長を新たに選任。青砥さんは「地域農業の活性化を目指し、大役を果たせるよう努力したい」と力強く抱負を述べました。

来年度の活動計画では、米の品質向上を図るため研修会や会員間の連携強化を目的とする意見交換会を行う予定です。

くにびき農業法人会（敬省略）

【会長】岸本 定朝（再任）

【副会長】多久和輝男（再任）

【委員】勝田 達雄（再任）

【委員】吉岡 雅裕（再任）

【監事】田中 裕司（再任）

【監事】青砥 忠一（新任）



挨拶をする岸本会長

やすぎ

春の彼岸花市開催

JAしまねやすぎ地区本部は3月16日からの3日間、同地区本部管内にあるグリーンセンター（農産物直売所）2店舗となかうみ菜彩館で「彼岸花市」を開催しました。同イベントは毎年開催している直売所の一大イベントであり、管内の農家が栽培した色鮮やかな花を中心に新鮮な野菜や果物なども豊富に揃えました。

各店舗では、定番である小菊やストック、しびきなどの花木が店先に並び、開店から多くの買い物客で賑わいました。来店客は「きれいな花がたくさんあって選ぶのが大変だわ」と笑顔で話されました。



斐川

女性部から図書カード贈呈

3月5日、JAしまね斐川女性部は、町内の西野幼稚園を訪問し、図書カードを贈呈しました。この活動は、安心して暮らせる住みよい地域社会づくりを目指す女性部活動の一環として毎年行っているもので、図書カードは、昨年のJA祭りで行われたチャリティーバザーでの収益金の一部から購入したものです。飯塚順子部長から園児たちに「みなさんや、今度新しく入ってくるお友達にもたくさん本を読んでもらえると嬉しいです」と手渡され、お礼に年長組の園児たちが歌を披露してくれるなど、大変賑やかな贈呈式となりました。毎年、町内12箇所の幼稚園・保育園を3箇所ずつ訪問しており、この日は中部幼稚園と出東幼稚園にも同様に図書カードを贈呈しました。



図書カードを園児に手渡す飯塚順子部長

石見銀山

長久小で出前講座『箱寿司』作り体験

大田市立長久小学校の5年生19人が3月2日、大田市の伝統料理「箱寿司」の作り方を学びました。

講師に、JAしまね石見銀山女性部長久支部の森脇岸江支部長、他5名を迎え、児童は酢飯、前日に作った錦糸卵などの材料を木枠に詰め、皆で切り分けました。

同校では、学習の一環として地元の米生産者の協力により、田植えや稲刈りなど米作りについて学んでおり、その学習の仕上げとして、同女性部による箱寿司作りの出前講座を毎年しています。児童からは「お米を一から作って大変だったけど、自分達で作ったお米を使って料理ができて良かった」「今まで作った料理の中で最高においしい」など感想を話しました。

箱寿司が完成すると、同女性部が用意していた「うどん豆腐」と一緒に食べました。箱寿司が出来上がるまでの間では、森脇支部長が雑誌「ちゃぐりん」を用いて児童にご飯をしっかりと食べることの大切さを伝えました。



同女性部の指導のもと寿司を取り出す児童

隠岐
どうぜん

隠岐家畜市場開催

隠岐では、牛馬の飼養頭数と地理的な面から島前の3島と島後の1島それぞれに家畜市場が設けられていて、隠岐市場は、春（3月）・夏（7月）・秋（11月）の年3回開催され、島後を振り出しに連続3日間をかけ全市場を巡回します。

今春の市場は、寒気に伴う大風でフェリーの欠航が危惧されましたが、予定どおり3月6～8日にかけて無事に開催することが出来ました。当地区本部からは365頭の子牛が上場され、平均価格は雌で553千円、雄で559千円、去勢で591千円、総平均で576千円と、残念ながら前回秋市場から31千円の下げとなりました。その要因として、上場日令の大きなバラツキ、不順な天候、上場頭数減、これに伴う購買者の減少などが考えられますが、放牧で育った隠岐牛の特徴である、肢蹄がしっかりした個体が多く見られましたので、今後に大きな期待が持てると実感しました。

幸いに、新規就農者を含め増頭意欲が強く、29年度の農協有家畜導入事業の利用頭数が50頭に達し、地区本部内の繁殖牛飼養頭数も増加しています。

今夏市場から、当地区本部最大の西ノ島町の家畜市場が「落成初市場」となるので、多くの関係者にご来場いただき、活況のある競り市場となることを期待しています。



出雲

農業情報イベント ミニアグリミーティング開催

JAしまね出雲地区本部は3月10日と11日の両日、同地区本部の生産資材課江田倉庫で農業情報イベント「ミニアグリミーティング」を開催しました。種苗・肥料会社など約20ブースで商品展示、農業技術紹介を行ったほか、栄養と美味しさの両立で注目を集める「金芽米」の試食販売も実施。2日間で約400人が来場しました。

このイベントは倉庫内のスペース活用で平成28年から開催しています。例年会場の一角でセミナーも開催しており、今回は空動扇によるハウス内の環境改善や、優良系統デラウェアのジベレリン処理といった新技術についての講習や、春野菜の栽培講習、野菜の飾り切りの体験など、12講座を実施しました。同地区本部生産資材課の片寄厚課長は「必要な情報は人それぞれ。多種多様な講座を企画したので興味があるものを見てもらいたい」と話しました。



試食販売を行った金芽米ブース

西いわみ

特産ユズ果汁を使ったカステラを発売しました

益田市特産のユズの栽培を手掛ける美都町柚子生産者組合（組合長山根哲朗）とJAしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は3月2日、ユズ果汁を使った新商品のカステラ「美都ゆずカステラ」の完成を山本浩章益田市長に報告しました。

カステラはJA地区本部、(株)和欄西葡、三菱食品(株)の三社が共同開発し、三菱食品(株)が展開する菓子ブランド「M'colla」の新商品として販売します。ユズの特徴である「香り」と「色」を生かすため100%ストレート果汁を使い無香料、無着色で仕上げました。

原料の果汁は種をつぶさず搾る手搾りに近い製法で搾ったもので、苦みが少なく酸味も強すぎず風味が良いといわれています。

報告会では、完成したカステラを山本市長が試食し、「食べると口の中に香りが広がり、大変おいしい。益田の新しいお土産にぴったりです」と喜ばれました。

田村本部長は「今後も生産者が喜べる商品づくりを進めていきたい」と意気込みを語りました。

カステラは3月10日より地域限定で先行販売し、24日以降順次販売エリアを拡大していきます。



カステラの試食後に田村本部長と言葉を交わす山本益田市長

本店

第8回 地域連携フォーラム開催

「みんなで安心して暮らせる地域づくりをめざして」をテーマとした、第8回地域連携フォーラムが3月8日、くにびき宮農センターを会場に開催し、集まった約250人が、各団体の実践報告や湯浅誠氏（社会活動家／法政大学教授）の特別講演を熱心に聴講しました。

「なないろ食堂」（いわゆる子ども食堂）を運営している吉川郁子事務局長は、実践から見てきたこととして「課題はあるが、参加者、ボランティア双方にとって、多様な人との関わりの場やほっとできる場になりつつある」と報告。この他、松江市古志原公民館長竹谷強氏が「夏休み寺子屋」を、生きづらさを抱える人々を支える地域づくりをめざす、すまいるーねっと代表後藤幸江氏が「農福連携」について、それぞれ報告しました。

また、湯浅誠氏は、子どもの貧困と地域づくりをテーマに「ボランティアとして、居るだけ支援という形もある。多様な人々とのつながりが重要」と参加者の実践に期待しました。

このフォーラムは、同じ地域に住み活動している仲間が、学習しながら実践し、つながることを目的に集まった「あったか地域づくり協議会」（構成団体：松江市社会福祉協議会、JAしまね、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね、地域つながりセンター等）が主催しました。



島根おおち

担い手人間ドックを実施

島根おおち地区本部では2月27日から3月1日までの3日間、地区本部管内の担い手農家を対象に、JA島根厚生連と連携した巡回人間ドックを実施しました。

邑南町矢上の矢上交流センターと、美郷町久保の邑智支店営農生活課の2か所で実施し、計68名の担い手農家の方が健診を受けられました。

この健診は通常の巡回人間ドックの項目に「胸部CT検診」をセットした本格的な検査で、様々な検査を1時間半程度で済ませることができ、JAから助成をすることで、通常の1/3程度の受診料で受診できるため、毎年多くの方に受診頂いています。

健診を受けられた方からは「助かっている」、「来年も受診したい」との声を頂いており、農家の皆様が安心して営農に取り組めるよう健康管理のお手伝いを行っていきます。



いわみ中央

産直加工品研修会で売れる加工品づくりと食品表示の基礎知識を学ぶ！

いわみ中央産直振興協議会（会長 松本昭二、産直会員979名）は、3月13日いわみ中央地区本部ふれあいホールにて産直加工品研修会を開催し関係機関を含む79名が参加しました。

研修会は、2部構成で行い、1部では、島根県6次産業化アドバイザーの土井小百合氏（松江市）による、「食卓に愛を！」～生産者目線から消費者目線へ～と題して講演をいただきました。

2部では、講師に浜田保健所環境衛生部の石橋技師と石原主任技師に食品表示の基礎知識研修として、「加工品の食品表示」の演題で講義を受けました。

講義の中では、食品表示法施行前の旧基準の表示が認められる経過措置期間も平成32年3月31日までとなっているため、新しい表示法を学びました。

講義終了後の質疑応答では、石橋技師に新しい加工品などの表示についての疑問を質問され、生産者としての産直への出荷意欲を強く感じた有意義な研修会となりました。



タテのカギ



- ① ここには——・力点・作用点があります
- ③ 5月5日は——の日。国民の祝日です
- ⑤ 父や母の兄弟です
- ⑥ 川の流れの急な所
- ⑦ 別名は虞美人草、ポピー
- ⑨ 日本庭園だとコイが泳いでいることも
- ⑪ 刃物で紙に描きます
- ⑬ 生物や化学を学ぶ教科
- ⑮ 無地ではない衣服
- ⑰ バイオリンや笛のこと
- ⑲ 鳥よけに張ることもあります
- ⑳ 唱歌『春の小川』の歌詞に出てくる花
- ㉑ レイシとも呼ばれる果物

ヨコのカギ



- ① 潮の引いた浜で貝を探します
- ② マジシャンが披露するもの
- ③ ストー夫人の著書『アンクル・トムの——』
- ④ 輪のある惑星として知られています
- ⑥ 急いで記した文字のこと
- ⑧ 野球部の監督が選手に——を飛ばした
- ⑩ 動物がよく通る所にできます
- ⑫ 魚やイカの呼吸器官
- ⑭ 化粧をするときにのぞきます
- ⑯ イースター島の巨大な石像
- ⑱ 同伴者のこと

二重マスの文字を A ~ E の順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

1	5	7		13		20
2				14	17	
		8	11		18	
	6			15		
3			12			21
4		9		16	19	
		10				

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成30年5月5日（土）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「タケノコ」

ナ	ノ	ハ	ナ	カ	ゲ
ワ	シ	カ	コ	ケ	イ
シ		オ	ミ	ク	ジ
ロ	ダ	ン	サ	ク	ラ
	イ	ダ	テ	ン	ク
セ	コ	ン	ド	イ	セ
リ		リ	ツ	タ	イ

お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ 健康散歩 JA島根厚生連

春野菜のパワー

桜も開花し、過ごしやすい気候になりました。春は山や野に新しい草花を咲かせます。そこで、今回は春に旬とされる野菜をご紹介します。

● **落（ふき）**：古くから中国や日本でもフキノトウの葉の部分を食べると咳止めや痰切の作用があるといわれています。

● **菜の花**：菜の花にはβカロチンやビタミンB1・B2、ビタミンC、鉄、カルシウム、カリウム、食物繊維など栄養素が豊富に含まれています。カロチンやビタミンCは免疫力を高め、がん予防やかぜの予防に効果的です。またカリウムも豊富なため、血圧が高めの方にもお勧めの食材です。種子から採取する菜種油は、不飽和脂肪酸のリノール酸やオレイン酸を含んでおり、動脈硬化の予防などにも効果があるといわれています。

● **たらの芽**：たらの芽は「山菜の王様」と呼ばれており、ほのかな苦味とコクがあるのが特徴です。特有の苦みは「エラノサイト」と呼ばれる成分で、糖の吸収を抑制し、血糖値の上昇を抑えるはたらきがあります。また、老化を防ぐビタミンE、精神を安定させるビタミンKも含まれています。さらに、葉酸も含まれており、妊娠中や授乳中の女性も積極的に摂取すると良いでしょう。

● **キャベツ**：ビタミンUは別名キャベジンと呼ばれており、胃の粘膜を修復し、丈夫にしてくれます。キャベツにはカルシウムも含まれ、骨を丈夫にし、精神を安定させる効果があります。

● **うど**：若い茎は食用になり、育った根は薬用になります。ペンアルデヒド、アミノ酸、タンニンを含み関節痛やリウマチの鎮静剤として用いられます。

野菜の価格が高騰しており、なかなか摂取する機会も少なくなっているかもしれませんが、旬の野菜を活用し、新しい年度に向けて春野菜から良いパワーをもらってみてはいかがでしょうか。

「集落座談会」Q&A

「平成29年度くにびき地区本部集落座談会」を1月下旬から2月中旬（忌部空山地区は3月28日開催）にかけ148会場で行い、2,223名（内女性423名）の組合員の皆さまが出席され、多くの声を寄せていただきました。座談会で賜りましたご意見・ご要望につきましては十分検討し、今後のJA事業運営に反映させていただきます。今月号では、一部ですが主な意見・要望とその対応についてお知らせします。

営農経済部

Q 農業全般で後継者不足が深刻な問題である。営農指導員（技術者）等のバックアップを更に充実させてほしい。

A 農業に限らず、あらゆる職種で人手不足が深刻な問題となっており、J Aとしては、今後も営農指導員をはじめ職員のレベルアップを図り、農家所得の増大に向けて取り組んでまいります。

Q 担い手不足で圃場整備された圃場でも耕作されていないところがある。誰かに耕作してもらえたら、どこに相談したらよいか。また荒廃した農地の対策はしているのか。

A J Aまたは地元の農業委員や農地利用最適化推進委員にご相談ください。また、荒廃した農地対策は、松江地域農業再生協議会と連携し対策に取り組んでいます。

Q 有害鳥獣の相談はどこにすればよいか。

A 松江市と農業共済の補助金制度もあり、詳しくは松江市の農林基盤整備課へご相談ください。

連絡先：0852-555245

Q 米の生産調整がなくなるとのことだが、目標設定は別の方法で個人ごとに示されるのか。またその方法はどのようなものか。

A 松江地域農業再生協議会が個々に目安を示す方法となり、営農計画書の配布に併せてお示しします。

Q 米の直接支払交付金が廃止されるなど、稲作は逆風環境である。こうした中、今後の米価動向をどのように見通しているのか。

A 生産者各自が生産数量目安を守られれば、現行水準を維持できると考えられます。特に島根県産きぬむすめやつや姫はニーズが高く、他県産に比べ価格低下リスクは少ないです。

Q 今後、米の買取制度はどのような戦略を立てていくのか。

A 島根米の買取にかかる専門委員会を立ち上げ、検討結果に基づき30年産米から、より良い買取を実施します。

Q 平成30年産水稻品種別作付け割合はどうなるのか。

A 平成30年産作付け割合の目標はコシヒカリ42・3%、きぬむすめ31・6%、つや姫26・1%です。平成29

年産は、コシヒカリの作付け割合が62・9%と高く、品種転換にご協力ください。

Q つや姫の栽培条件を緩和してほしい。

A 県の施策のため、栽培条件を変更することはできませんので、ご理解ください。

Q 米選別機のふるい目更新を進めているが、普及率はどの程度なのか。また、1・9ミリにする意味は何か。

A 普及率は約8割です。また、全国の主要産地は1・9ミリふるい目による選別を行っています。1・85ミリと比較して、米は3パーセント程度増えますが、買取価格を高く設定しています。

※導入支援のご案内：P16に掲載

Q 農産物の海外向け販売状況はどうなのか

A 八束町の牡丹をはじめ、あんぽ柿などを海外で販売しており、今後牡丹の販売ルートを利用して他の品目も販路拡大していきたいと考えています。

Q 産直に出荷するための手数料はいくらなのか。また廃棄料は必要なのか。



平成29年度 くにびき地区本部 ご意見・ご要望にお答えして

**米の買取り
方式は？**

**生産調整の
見通しは？**

**集落座談会の
あり方は？**

A 直営店とAコープは15%、みしまやとアイパルテは20%です。店舗にて廃棄する場合には、料金をいただいています。

Q 産直の出荷シールについてなぜ色分けをする必要があるのか。統一して欲しい。

A 出荷される場所（Aコープ、グリーンショップ、みしまや等）によって精算システムが違うため、統一する事はできません。

Q くにびきサンサン市場駅前店はどこにあり、直接持ち込めるのか。

A 松江駅の高架下にあります。直接の持ち込みは、できませんので、JAグリーンつだまたはJAグリーンかわつへ持ち込み、サンサン市場駅前店に出荷希望と伝えてください。

Q 他の地区本部と肥料、農薬の価格が異なるのはなぜか。またホームセンターに較べて高いと感じる。統合メリットによる価格の引き下げをお願いしたい。

A 地区本部によって、運賃等の諸経費の違いがあるためです。また現在、水稲中心に統一品目に銘柄を集約し、統合メリットによる価格の引き下げに取り組んでいます。今後は

畑作の品目についても取り組みを進めます。

Q 中堅・小規模農家も持続可能な農業を実現するため、農業機械をリースにして、利用しやすい仕組みを構築して欲しい。

A 以前から農業機械のリース事業の整備を希望する意見をいただいております。県域跨ぎで大型機械をリースして有効利用を模索している事例があります。中四国地区でも平成30年度から中型コンバイン（4条）の共同利用リースを開始予定です。

生活福祉部

Q 胸部CTや超音波検診等を実施しているが、人間ドックのような事もやってもらいたい。

A 担い手（認定農業者、新規就農者、法人・集落営農組織の構成員等）の方の人間ドックを2月に実施しています。

Q 旅行センターが廃止というところだが、直接、(株)農協観光島根支店に申し込んでもよいのか。

A 長年旅行センターをご利用頂きありがとうございます。今後は、(株)農協観光島根支店へ直接お申込みいただけますようお願いいたします。

連絡先・0852-26-2600

Q シロアリの調査はいつでもできるのか。

A ご希望の方は、支店・店の窓口までいつでもお申してください。

Q 資産相談件数はどれくらいか。

A くにびき管内では1月末で97件の相談があり、相談が7割程度を占めています。

Q 葬祭事業のPRが不足していると思う。
知らない人が多いのでメリットをもっとアピールしたらどうか。

A 葬祭会員専用定期積金『おおぞら』の加入特典である、①生花・祭壇料金10%割引、②法事のお食料料金5%割引、③JAからの盛籠1基お供えなど、ふれあい訪問日等でのPRに努めます。

金融共済部

Q 4月2日から開店時間が8時45分に変更となるが、終了時間はどうなるのか。

A 現金扱い（信用・共済等）は午後3時までで、それ以外の業務については、午後5時まで営業します。

Q 4月2日から両替手数料がかかるとのことだが、自治会などで「金種指定払出」や「大量硬貨入金」の場合でも手数料がかかるのか。

A 自治会をはじめ地方公共団体（学校を含む）、保育園、公民館、社会福祉法人等は手数料免除の対象となります。

Q くにびき地区本部の貯金に対する貸出金の比率（貯貸率）はどうか。

A JAしまね全体では27・4%、くにびき地区本部は33・2%となっております。県内で一番高い比率です。

Q 生保会社は毎年契約内容の確認に訪問しているが、JAの対応はどのようなのか。

A JAは、「3Q訪問活動」として、ご契約いただいている各戸を訪問し、保障内容の点検活動を実施しています。

Q 傷害共済は、80歳以上でも加入できるのか。

A 99歳まで加入できます。

Q 機構改革によって自動車事故相談機能が変更になるということだが、県外での事故も含め対応についてはどうなるのか。また、土日の対応を専門の方にしてほしい。

A 機構改革後も初期対応は地区本部で対応します。現場への急行示談交渉については全共連が行います。県外での事故も県外の全共連で対応します。土日の事故については、休日明けに担当者から連絡が入ることになります。フリーダイヤルでも親切丁寧に誘導いたしますので、ご安心ください。

☎0120-258-931

企画総務部

Q 組合員になる条件を教えてください。

A 正組合員は、1,000円以上の出資と耕作面積が2アール以上または年間農業従事日数30日以上が条件です。准組合員になるには、県内に在住または勤務する方で1,000円以上の出資が条件となります。

Q ポイントカードについて、ポイントの失効の期限や残高が分りにくい。もう少し分りやすく周知した方がいいと思う。

A ポイント残高は出資配当金の案内に明記しています。また、支店、JAグリーン、Aコープ店でカードを提示していただくと設置してある機械で照会できます。現在、案内ポスターを各支店・ふれあい店等に掲示しています。

Q 座談会開催をJAとして、どう考えているのか。個人的には、普段はなかなか職員と話せる機会もないのでいい場所だと思っている。

A 組合員の皆さまから率直な意見が頂戴でき、併せて懇親を深められる大切な場があります。今後も継続して開催します。

Q 座談会の意見のフィードバックは行われているのか。ホームページにも載せてほしい。

A 広報誌に掲載し支店に座談会報告書を据置していますが、今後はホームページへの掲示等も含めて検討します。

Q 全国的に女性の活躍や参画をよく耳にするので、組合員加入促進運動をしているのであれば、女性の活動の場づくりを支店単位で行ってみてはどうか。

A 現在管内の13支店中9支店に女性部の支部があり様々な活動が行われています。昨年新設された川津支部では、100名を超える方々が加入され、活発に活動されています。今後も全支店に支部が設立されるようサポートしていきます。

Q 機構改革が行われているが、専門部署がなくなると職員の専門性が失われるのではないか。また、その影響で、くにびき地区本部の職員が他の地区本部へ異動することはあるのか。

A 職員の専門性については、各部署において育成指導を行っており、引き続き機能を強化し、組合員・利用者の方々の満足度が高まるよう努めます。また他の地区本部への異動は、現段階ではありません。

くにびき地区本部公開セミナー

食と農の いま、未来

～持続可能社会とJA自己改革～

開催



講演に耳を傾ける参加者

くにびき地区本部は3月11日と25日、公開セミナー「食と農のいま、未来～持続可能社会とJA自己改革～」を営農総合センターで開催しました。有識者4名による講演があり、農業の現状と将来像について理解を深めました。同セミナーは、業績還元資金を活用して初めて企画しました。

11日は、日本農業新聞の緒方大造論説委員と、フリーアナウンサーで農業ジャーナリストの小谷あゆみ氏が講演。緒方委員は最新の農業情勢を踏まえながら、現政権が進める農業改革について解説。日本の農業は厳しい局面にあるとした上で、「JAが生き残るには、経営力、販売力、組織力が求められる」と強調しました。小谷氏は、農業の魅力と社会における重要性を説き、「SN

S等での情報発信を通じて農業に親しみを持つことが重要」などと分かりやすく説明しました。また25日は、日本農業新聞の田宮和史郎論説委員室長と、元林野庁長官・参議院議員で、すかいらーくフードサイエンス総合研究所理事長の入澤肇氏が講演。田宮室長は、「農業新時代の本質はピンチとチャンスの二面性がある。農政は悪化しているが農産物は国産志向が強くなり売り手市場になりつつある」と述べました。入澤氏は、農政改革と農業・農村・農協の今後の在り方について自身の経験を交え、様々な視点から農業の将来の展望などを語り、「農業で郷土愛が生まれ、それが民力になり、やがて国力になる」と熱弁しました。参加者は「JAと行政が一緒になって、今後の松江の農業や農家を守る必要性を改めて感じた」「農業について再度考えることができる有意義な時間となった」と感想を述べ、好評のうち



小谷あゆみ氏



緒方大造氏



田宮和史郎氏



入澤肇氏

女性ランナーに 地元農産物を贈る

まつねレディースハーフマラソン

早春の城下町松江・宍道湖畔を舞台に3月18日、「第39回まつねレディースハーフマラソン」が開催され、ランナーたちが熱いレースを繰り広げました。入賞者には、くにびき地区本部から健闘を称え、副賞として管内産の米や野菜の詰め合わせを贈り、地元農産物をPRしました。

終始レースを引っ張り、終盤の一騎打ちを制し優勝を飾った田中智美選手(第一生命グループ)をはじめ日本学生女子ハーフマラソン選手権、II部10キロマラソンなど19部門の優勝者に、管内産コシヒカリ10キロを贈呈。2位の選手には5キロ、3位の選手には「野菜の詰め合わせ」を手渡しました。

表彰式で、田中鈴夫副本部長からずしりと重い米を受け取った田中選手は「長い距離を走るにはエネルギーが必要。たくさんお米を食べて力にしたいです」と笑顔を浮かべていました。



田中副本部長(右)から米を受け取る田中選手(左)



くにびき地区本部情報

自転車夜光反射材贈る

松江二中など管内中学校へ



左から栗原本部長、今若羽菜さん、田中彩香さん、塚本優斗さん

J・A共済の交通安全活動で、自転車通学時の夜間の交通事故防止に役立ててもらおうと、新学期を前に管内各中学校へ自転車用夜光反射テープ1,718個と反射タスキ618個を贈りました。

3月22日には、栗原令本部長が松江市立第二中学校を訪れ「登下校時に着けて、交通事故防止に役立ててください」と生徒会長の今若羽菜さん（3年生）と生活委員長の田中彩香さん（3年生）、副委員長の塚本優斗さん（3年生）に、新1年生用の反射テープ189個の趣意書と目録を手渡しました。今若さんは「普段から自転車に乗る際は、併走したり、スピードを出しすぎたりしないよう心がけていますが、今後も更に注意して運転します」、塚本さんは「反射テープを付けると、登下校時の思いがけない事故も防げると思います」と感謝していました。

キャベツ・西条柿・牡丹栽培実践で学ぶ

6期生10名修了・だんだん営農塾

農業の基礎知識や技術を学びたい方を支援する「だんだん営農塾」が全過程を終え3月20日、中海干拓研修センターで閉講式を行い、女性2名を含む6名が出席し、修了証書を受け取り、今後の抱負などについて語りました。

同塾は松江地域農業再生協議会の担い手育成部会が、新たに就農を考えている人などを対象に募集。6期目となる今年度も、前年に引き続きキャベツ、西条柿、牡丹のコースで実施。各作物を栽培しながら農業の基礎をはじめ農業機械の使い方や肥料・農薬の知識、経営・経理などを習得しました。

式では、塾長の松江市産業観光部農政課土江紀明課長が「夏は高温少雨、秋から冬は冷え込む日が続き、苦労されたと思います。塾での経験を活かし、それぞれの道で活躍してください」と激励しました。キャベツコースを受講していた高橋莉央さん（西条島）は「皆様に助けられ、実りのある一年でした。作物に対し、愛情を持ち、自分の出来ることから少しずつ、がんばっていきます」と意気込みを語りました。

だんだん営農塾閉講式



年金友の会の会員の皆様へ 特典の一部変更のお知らせ

平成30年度より会員の皆様への特典の一部を変更させていただきます。

1. 誕生日プレゼント

「お誕生日プレゼント引換カード」をふれあい訪問日に配布（または郵送）いたします。この引換カードを支店窓口へお持ちいただいた方へ、プレゼントを進呈いたします。（引換可能期間は誕生日から1年以内、代理の方のご来店でも引換可能です）

2. 年金ふれあい感謝デー

平成30年4月より年金支給日の年金ふれあい感謝デーは、支店独自企画による感謝デーといたします。

なお、開催月は4月、6月、10月、12月、2月の年5回とさせていただきます。（8月は実施いたしません。）

また、従来行っていました皆勤賞については廃止とさせていただきます。よって「年金ふれあい感謝デーご来店カード」はございません。

年金ふれあい感謝デー開催日には、年金受取の貯金通帳を支店窓口へご持参ください。何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



葉わさびのしょうゆ漬け

春の訪れを感じさせる食材のひとつ、葉わさびのしょうゆ漬け。独特の苦味と爽快な辛みは、何とも言えぬ大人の味。シャキシャキとした歯ごたえが特徴で、酒の肴にご飯のお供にピッタリです。葉わさびは八雲町などで栽培されており、春の一時期しか出回らないのでグリーンショップでタイミングよく求めましょう。よくもんで、しばった葉わさびを酒粕、みりん、薄口しょうゆ少々で和えても美味しいですよ。

【材 料】

- ・葉わさび……………200g
- ・塩……………少々
- 【漬け汁】
- ・白だししょうゆ……………70ml
- ・みりん……………70ml
- ・水……………70ml

【作り方】

- ①葉わさびの葉を水洗いして、日かげでしんなりする程度に干す。
- ②漬け汁を作る。鍋に白だししょうゆ、みりん、水を入れひと煮立ちさせ、冷ましておく。
- ③葉を食べやすい長さ（3cm位）に切る。
- ④すり鉢に切った葉を入れ塩少々ふり、手でよくもんでかたくしぼる。
- ⑤ボウルに④を入れ、熱湯を葉が全部かぶらない程度にかけてかきまぜ、汁をすてかたくしぼり、冷水にとる。
- ⑥かたくしぼった⑤を蓋つき容器に入れ、冷ました②の漬け汁を入れてふたをする。
- ⑦3～4時間おくと辛みが増し、出来上がり。



今月の料理人

八雲支部
藤田 弓子 さん (右)
山根 静枝 さん (中央)
岩田 悦子 さん (左)



葉に刺激を与えた方が辛く、香りもよくなるといわれています。ふたのできる容器で漬けるのが、風味と辛みをなくさないコツです。漬け汁が完全にかかるように漬けましょう。冷凍保存しておくこともできますよ。

参加者募集!

サン・サン料理教室

日時 2018年5月24日(木) 13:30～16:00
※定刻より開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。
場所 くにびき地区本部 San・san館 松江市西川津町1635-2

松江の人々は普段の暮らしの中でさりげなくお茶に親しんでいます。新茶の季節にお茶を使ったスイーツに挑戦しましょう。JA女性部が講師となりコツを教えます。

5月のメニュー 〈新緑の季節 お茶三昧♪〉
スイーツを皆で作りましょう。もちろん新茶を添えて!
★抹茶いろいろ★濃厚抹茶プリン★緑茶クッキー★お土産あります!

募集人数 20名程度
組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,000円 (当日徴収いたします)
準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 平成30年5月18日(金)

お申込み/お問合せ ①住所②氏名③電話番号をご記入の上、はがきまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1 企画総務部ふれあい課 サンサン料理教室係
TEL : (0852) 55-3018 FAX : (0852) 32-6870
E-mail : community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

暮らしに役立つ家庭雑誌

家の光 好評販売中!!

「食と農」「家族」「暮らし」「協同」の4つのテーマを追求して92年。家族みんなの夢を応援します!

年6回別冊付録付き

さまざまな分野の旬のテーマをわかりやすく掘り下げます。

定価(税込) ●普通月号617円
●家計簿付き12月号1,008円
●付録付号(1・4・5・7・9月号) 906円



誌代1年分を前納すると普通月号1か月分が無料となります。

◎年間予約購読(前納)誌代(税込)

誌名	年間定価合計	無償分	前納誌代
家の光	9,240円	617円	8,623円
地上	7,396円	606円	6,790円
ちゃぐりん	6,042円	483円	5,559円

※原則として、年間予約購読(前納)の中途解約はできません。

年間予約受付中

宮農指導体制がリニューアル

くにびき地区本部情報

宮農指導課



園芸特産係係長
犬山 浩一

携帯 080-5239-2534
米穀、特産



宮農指導係係長
安達 朋秀

携帯 080-5239-2528
米穀、特産



課長補佐
門脇 功一

携帯 080-5239-2529
米穀、特産
(特産リーダー)



課長補佐
角田 昌

携帯 090-9732-6105
米穀、特産
(米穀リーダー)



課長
岩田 政彦

電話 0852-55-3031
米穀、特産



宮農指導係
宮廻 義弘

携帯 080-6302-7999
米穀、特産
(椎茸、生姜、産直)



園芸特産係
門脇 菜

携帯 080-5239-2531
米穀、特産 (アスパラガス、いちじく、ゆず、西条柿)



宮農指導係
吉川 純平

携帯 080-5239-2523
米穀、特産 (トルコギキョウ、ストック、ヒマワリ、西条柿)



宮農指導係
石田 翼

携帯 080-6262-6495
米穀、特産 (西条柿、メロン、なばな、津田かぶ)



宮農指導係
安部 恭久

携帯 080-5239-2525
米穀、特産 (西条柿、わさび、自然薯)

担い手サポートセンター



担い手対策係
川島 奨

携帯 080-1927-9801
《広域》新規就農・集落営農



担い手対策係
片寄 俊一

携帯 090-8992-1354
《橋北》TAC (経営相談、農業融資相談 等)



担い手対策係係長
渡部 直樹

携帯 090-4894-3961
《橋南》TAC (経営相談、農業融資相談 等)



宮農指導係
上田 隆夫

携帯 080-5239-2521
米穀、特産
(あすっこ、産直)

中途採用職員 (正職員)募集

職員区分／①総合職 ②専門職
③福祉職

待遇／当組合規程による

応募期間／平成30年4月9日(月)～

5月11日(金)

試験日／平成30年5月21日(月)

※ご相談・お問合わせは

くにびき地区本部人事課

Tel 0852-55-3013

米選別機「1・90ミリふるい目」導入支援のご案内

J Aしまねでは、良質米生産の取り組みの一環として、米選別機のふるい目を「1・90ミリふるい目」へ更新していただくことを勧めております。

平成30年度においても「J Aしまね農業振興支援事業」にて「1・90ミリふるい目」の導入支援を実施いたしますので、導入支援を希望される方は担当部署までご連絡いただきますようご案内いたします。

- 支援対象：平成30年4月以降に購入される1.90ミリふるい目
- 補助率：ふるい目購入金額(税別)の2分の1
- 申込期限：平成30年5月2日(水)
- ※申込みされた方には、事業内容や申請手続きについてご案内いたします。
- 担当部署：宮農企画課 0852-55-3030
米穀畜産課 0852-55-3038

「地域の元気人」で紹介されたセリ農家の小林さんはすごいと思いました。真冬のしんどい作業は嫌いでは出来ないことだと思います。(Y・Cさん)

毎年この季節になるとJ Aグループのタケノコ売り場を楽しみに出掛けています。毎日食べても飽きないタケノコ! 旬のものも食べるのは体に良いと知り、うれしくなりました。(F・Fさん)

「松江に伝わるふるさと料理」がとても参考になりました。ふきのとうをいただいたりも調理方法が分からず、花を咲かせて楽しんでいました。しかし、今年は美味しく旬の食材をいただくことができ感謝です。(F・Mさん)

会社勤めをしていますが、休みの日の畑仕事がとても楽しみです。春になり「しまねびより」を参考にジャガイモを植えましたが、1人で作業するのは大変ですが、お粗末な野菜でも子どもや孫が喜んで食べてくれるのがとてもうれしいです。(K・Cさん)

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございました。いただいたおハガキの一部をご紹介します。



お便りコーナー

平成29年度
地域貢献・地域活性化
事業支援金を交付

JAしまねでは「平成29年度地域貢献・地域活性化支援事業」を実施し、地域貢献・地域活性化に取り組みグループ・団体等を普及支援しています。くにびき地区本部は、3月28日に交付式を行い、左記の5団体に「地域活性化活動支援金」を交付しました。

団体名 (構成者数)	代表者 (敬称略)	主な活動内容
農事組合法人意宇の社 (24名)	田中 裕司 (竹矢町)	地域住民に農業体験や田んぼ泥遊び等で農業や自然のすばらしさを伝えながら、地域間の交流の場を作っている。
企業ボランティア松江ネットワーク会議設立20周年記念事業実行委員会 (26名)	金津 任紀 (千鳥町)	20周年の節目に松江市におけるボランティア活動の一層の推進を図り、企業等が地域社会に貢献できる事業として開催した。
松江市環境フェスティバル実行委員会 (23名)	瀬崎 輝幸 (学園南)	参加者の環境意識を高めるとともに地元の物産や環境関連企業などの技術力・商品を広く市民へPRし、環境に関心の高い市民、NPO、事業者、行政などが環境問題について楽しみながら学べる場を提供している。
地場産消費拡大実行委員会 (25名)	石川 修一 (大庭町)	地区内のイベントにおいて米のすくいどり地場産の焼肉、枝豆、焼きとうもろこし等を販売し、地場産農畜産物の消費拡大と認知度を高める活動をしている。
くにびき青年連盟婚活実行委員会 (17名)	野津 喜洋 (西川津町)	若手農業者が栽培した地場の新鮮野菜を持ち寄り、ピザを作る「Pizza婚」を実施し、農業従事者に出会いの場を提供することで担い手サポートをしている。



後列左より、川上副本部長、栗原本部長、田中副本部長、越野企画総務部長
前列左より、野津委員長、田中代表、金津委員長、石川委員長、瀬崎委員長

くにびき地区本部 謝恩プラン

組合員様限定

平成30年 4月1日～6月30日
(4月28日～5月5日を除く)

宿泊コース 平日限定
ご夕食時
日本酒又はジュース1本付
さらにサンドパス1回無料
(通常3,080円)

お得限定プラン

1泊 10,800円
2食付 (お送り料込)
(3名様1室 おひとり様料金)
(※2名利用時 1,200円増)

日帰りコース
亀嵩膳 + ご入浴券 (タオル付) 2,900円 ↓ 2,000円
奥出雲和牛すきやき膳 + ご入浴券 (タオル付) 2,800円 ↓ 2,000円

★謝恩プランの割引チケットは、農協観光島根支店までご依頼ください。
★ご宿泊プランをお申し込みの場合は、事前にお問合せ下さい。

島根県仁多郡奥出雲町 亀嵩3609-1
TEL:0852-26-2600

床下の無料調査 (シロアリ駆除・防除等)に伺います。

シロアリ警報! 5月は羽アリが多発!!

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしくお願いたします。

志田原 高 石川 由之 古川 秀信 山根 直也

お問い合わせ先

くにびき地区本部 生活燃料センター
松江市東長江町902-43 ☎0852-36-9270

取扱業者

(株)コダマサイエンス 松江営業所
松江市西礪島2-8-23 ☎0852-26-6757

5月 くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で受け付けています。

日	曜日	相談会内容	場所・備考
10	木	税務相談会	川津支店 TEL:23-2424 10:00~12:00
11	金	税務相談会	古江支店 TEL:36-8157 10:00~12:00

○くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、毎週土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談会を開催しています。但し、5月19日(土)はお休みさせていただきます。要予約。
◆お問合せは ☎0120-988-380 まで。

5月 ふれあい訪問日 5月16日(水)・17日(木)

くにびき地区本部情報

◎支店長、拠点施設センター長、課長
 ○支店次長、営業課長、業務課長、店長、センター長、所長
 ■課長補佐 □係長 #臨時 △派遣

本部長 栗原 令

地区副本部長 田中 鈴夫

生活福祉部

部長 古藤 昌希
 次長 目附 徳夫

営農経済部

部長 中村 隆

生活総合課 553040
 ◎荒木 潤一

福祉課 628042
 ◎生活福祉部 次長兼務
 福祉係
 #小村 裕子
 #島崎真美子
 #上山根睦美
 #松森 正喜

農機センター 553066

営農指導係 553031
 園芸特産係 553033
 ◎岩田 政彦

産直資材課
 ◎松尾 勝
 生産資材係 553036
 産直係 553034

営農企画課 553030
 ◎安田 淳一

米穀畜産課 553038
 ◎山根 敏行
 ◎佐川 真二

営農企画係 □恩田 直幸、栗垣 美海、#池田智恵美
 担い手サポートセンター
 担い手対策係 □渡部 直樹、片寄 俊一、川島 奨

米穀畜産係
 #須山 哲成
 #奥原 裕之、岩水 孝則、錦織 貴裕、梅 晶博、#長廻さおり
 #経種 則子、#吉岡 悟、#藤原 薫、#高井 恵人

産直資材係
 ◎上田 武(生産資材)
 #朝妻日出子、#佐々木 治、#渡部 洋
 #鳥木 丈治、角田 睦也、須山 慶一、山本 美紀、#水瀬 敦、#波多 伸行

JAグリーン(21ページ参照)
 グリーンショップ(21ページ参照)

インショップ

園芸特産係
 #角田 昌(営農指導)、#門脇 功一(営農指導)
 営農指導係 □安達 朋秀、安部 恭久、石田 翼、吉川 純平、#桑垣 朗
 #宮廻 義弘、#山崎 真紀、#上田 隆夫
 #大山 浩二、門脇 葉、#青木 律子

八束特産事業所 762526
 ◎0120・053・435(牡丹)
 ◎営農指導 一 特産指導係
 課長兼務

中海干拓事業所 526610
 ◎小室 陽二 営農指導係
 課長兼務
 #平塚 敬樹、#曾田 稲子
 #門脇 里子、#門脇 有悟
 #吉田 達志、#福頼 雅子
 #青木 保憲、#石倉 哲也
 #松田 純一

介護相談センター 628043
 ◎井上 理恵
 福祉係 菅田 聡美、#三好真由美、#松浦 晃子

ヘルパーステーション 628010
 ◎石倉 美鈴
 福祉係 吉浦 里美、#三代 美音
 登録
 #馬庭八重子、#荒木喜代美
 #河原 令子、#柳原奈美子
 #川本富美子、#舟木 仁美
 #荒木 千浪、#日附美三恵
 #中林 広子、#畠中 寛子
 #早月 早子、#窪田 春子

サン・エールたまゆ 629333
 ◎森田みどり
 生活介護短期入所 福祉係
 #福庭 幸子、石倉 亜衣、土江 文子
 #渡邊 由子、岡崎 一、田中 達也
 #小豆澤初美、杉原八重香、植田 ルミ
 #澤田 佳男、藤原 佳子、陶山 加奈
 #勝部 静枝、#瀬田美保子、#長谷川美幸
 #山崎 栄子、#竹下 繁雄、#横原 信子、#余村 純一
 #森田 道子、#板垣 友美

通所介護 620466
 ◎津森由紀子
 福祉係
 #井上 進、荒木 愛子、近藤 好幸、梶谷奈津子
 #目次 美香、植田 建一、野津 宏基、和田佐知子
 #吉田 美紀、佐藤 歩、柳原 健治、#大櫃 玲子
 #山崎 貴子、#田中由加利、#伊藤くみ子、#宮本 有二

資産相談センター 323111
 ◎生活総合 課長兼務 一 資産相談係
 柳浦 純子、藤原 三紀、福島 一樹

生活燃料センター 369270
 ◎0120・419・496
 ◎石倉 英人 一 生活燃料係
 #松崎 一好、#石原 堅、#石倉 和浩
 #角 紀子、#鶴原 雅男、#白石真理子
 #神庭 昭一

物流センター 553036
 ◎0120・070・233

有JAしまなくにびき協同サービス 289245

(営農企画課付)
 (松江市農政課出向)
 ◎石倉 精治
 #岩田 敏
 #古藤 純子

くにびき地区本部役員配置図

地区

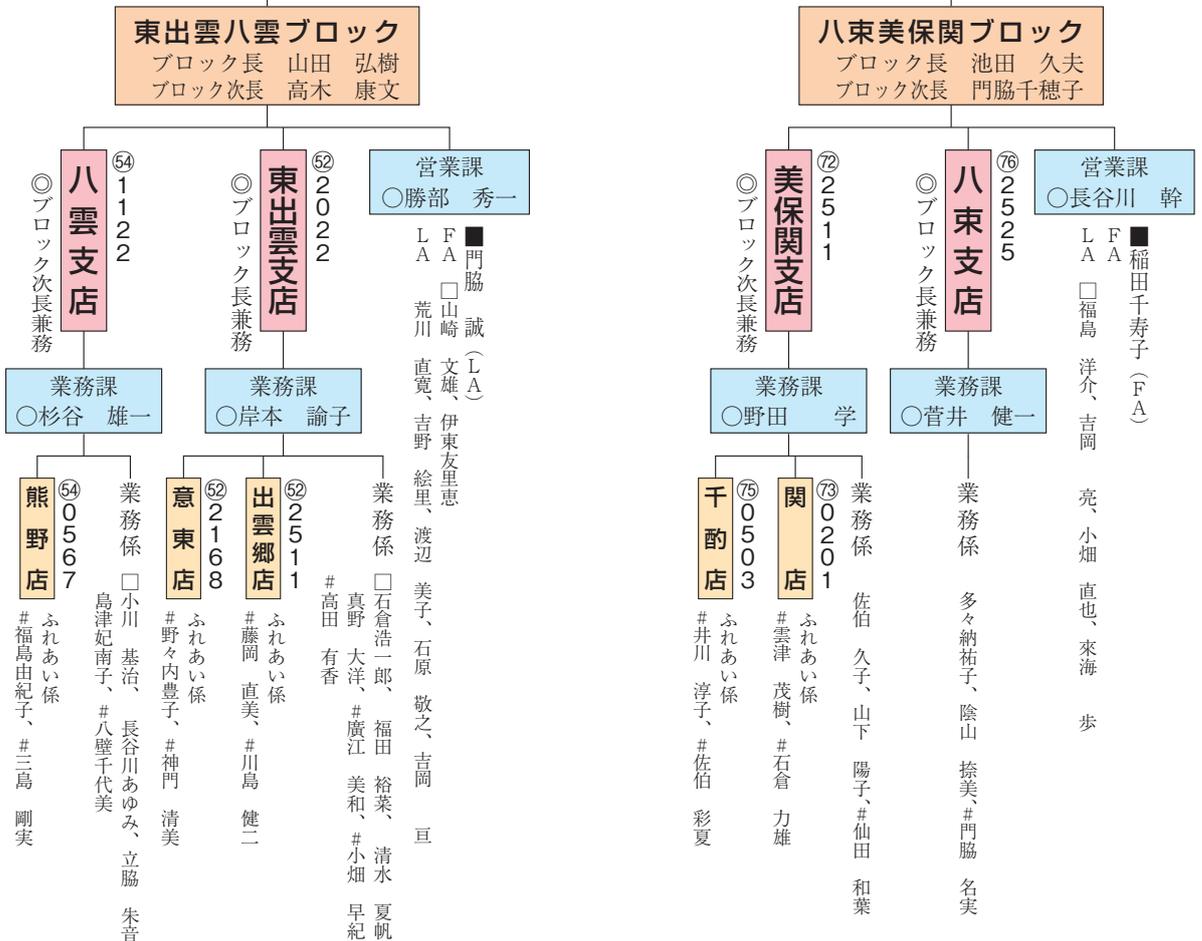
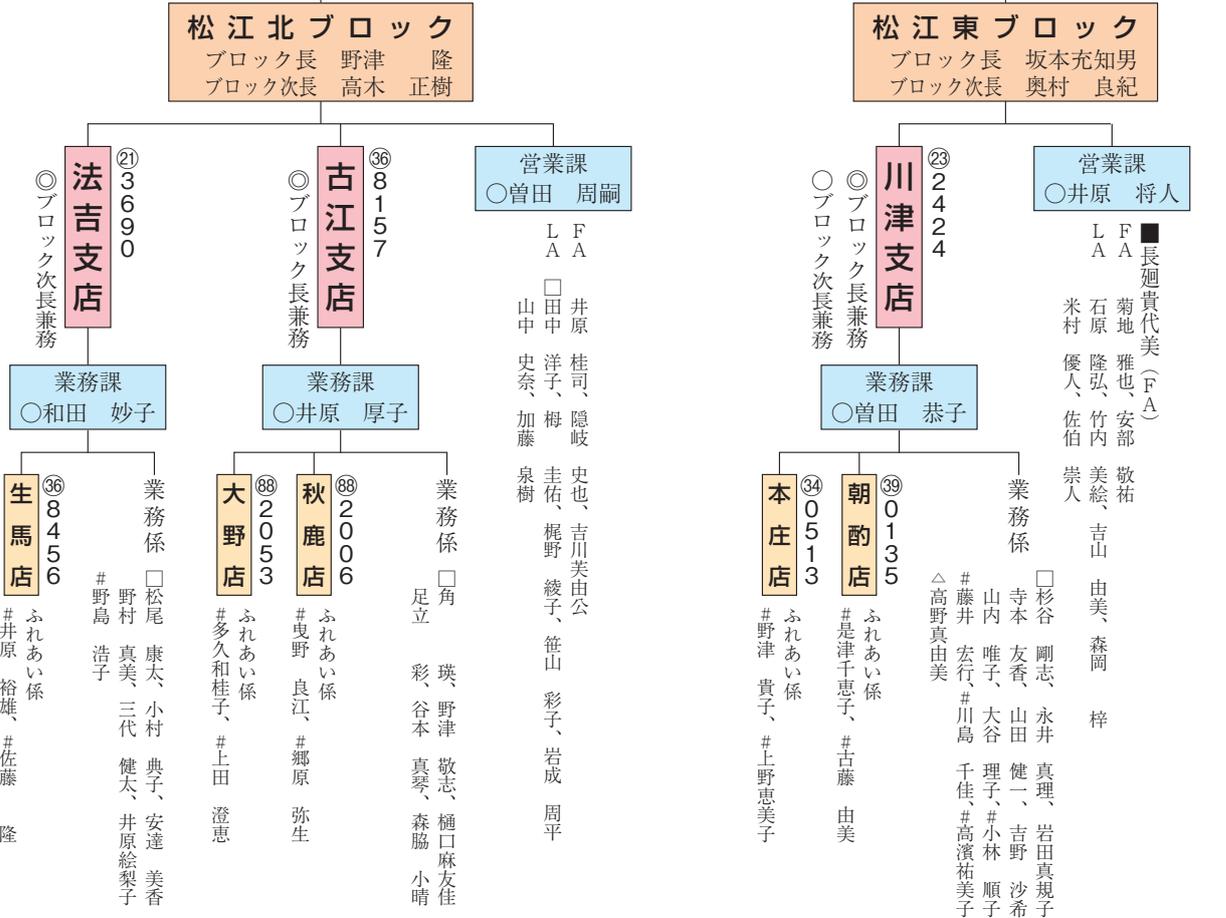
平成30年4月1日付の役員配置図は次の通りです。



くにびき地区本部情報

※支店・店窓口の営業開始時間を午前8時45分に変更させていただきます。

F A - 信用渉外係 L A - 共済普及係



鹿島島根ブロック

ブロック長 村上 裕二
ブロック次長 川谷 勇策

島根支店
◎ブロック次長兼務
852007

業務課
○種平 貴行

大芦店
852095
ふれあい係
#奥村 和子、#千代田絵美

野波店
852552
ふれあい係
#中村久美子、#田中 千春

業務係
杉谷 勉、伊東 梨、#竹田美穂子

古浦店
820026
ふれあい係
#飯濱 武彦、#野津 治美

佐太店
820142
ふれあい係
#中村万理子、#足立いづみ

業務係
#寺本 知広、#大國 真依、#堀江 寿美
#田村 俊二、#福島 梨紗、#松本 毅

営業課
○青砥 伸吾

■松尾 温子 (F A)
F A □川谷 浩美
L A 福井 健志、梅木 竜、伊藤 茜、橋本 由理、持田ひかり

松江南ブロック

ブロック長 今岡 修透
ブロック次長 春木

乃木支店
◎ブロック次長兼務
213758

中原店
○植尾 彰
212567

業務係
#足立 晶子、#野津 洋子

業務課
○小豆澤千鶴

忌部店
332011
ふれあい係
#森脇 正敏、#小松原真弓

業務係
#神庭 康好、#久井 真希、#坪倉 直紀
#黒目 早貴、#山本菜々子、#岩田 紋音
#柴山 千春、#岡 千鶴子、#満田さつき

津田支店
◎ブロック長兼務
241818

業務課
○井上 裕文

大庭店
213077
ふれあい係
#角 清利、#木瀬勢津子

竹矢店
370419
ふれあい係
#足立 久子、#杉村 忠司

業務係
#黒崎美佐子、#井上 直紀、#根本 歩美
#青木 絢子、#中島 真美、#藤井かおり
#日高 貴子、#葉狩真依子、#永瀬奈津子

営業課
○永井 宏和

■石橋 保範 (F A)
F A □安田 浩平、藤原 真優
L A □沖本 達哉、荒川 智子、土江 修平、奥村明日香
安部 美佐、山口 諒、永島 健汰

グリーンショップ

産直資材課

グリーンショップしんじ
660173

グリーンショップたまゆ
621314

グリーンショップやくも
541136

グリーンショップふるえ
367133

中海干拓事業所
グリーンショップ東出雲
店舗係 森廣 恵子、#一瀬 勝、#小松 弘美

店舗係 #若竹 宏美、#福岡 久恵、#石倉昌二郎

店舗係 #石倉八千江、#新宮 陽子、#和久田恵子
#奥田 好恵

店舗係 #戸谷 明生、#外谷三枝子、#小池 恵子
#安達まり子

店舗係 加藤 潤、#吉岡 幸子、#小笠原智恵美
#古川 健策、#橋本 亮子、#平井 朋子
#池田優美子、#金田 文子

J A グリーン

産直資材課

J Aグリーンつだ
325050

J Aグリーンかわつ
212373

くにびきサンサン市場駅前店
店舗係 #森本 裕子、#中本恵理香

○清水 雅樹
店舗係
#吉野 純也、#和田伊都子、#藤田 倫子
#藤井のり子、#安達 杏子、#宮久 恵
#内田比呂志、#田中 健次、#生越可那子
#遠藤 教乃、#今岡 径子、#西山 良
#平野 陽子、#長谷川裕子

○大野 公祐
店舗係
#吉川 敏弘、#野津 貴信、#中村 雅樹
#池田真由美、#佐野 妙子、#安部 里美
#安達 真弓、#田中 栄子、#小柴 和子
#宮本 久恵、#勝田 明美、#多田 良子
#寺本 美鈴

宍道玉湯ブロック

ブロック長 加藤 育世
ブロック次長 片寄 謙一

玉湯支店
◎ブロック次長兼務
621313

業務課
○梶谷 朋之

業務係
#形岡 裕子、#前田 達雄、#保坂 みな
#小谷 由希、#竹原 由美

宍道支店
◎ブロック長兼務
660416

業務課
○吉岡 秀夫

業務係
#田久和賢治
#伊藤 修英、#園山 由香、#土江かおり
#小村 直人、#坂本 金子、#庄司 千智
#高木 典子、#持田 恵子

営業課
○小村 晃史

F A □杉谷 高明、#山根 沙織
L A 山本 亮介、三島 利香、岩本 祐介、金築 萌子、野津 武司

栄養豊か 花も楽しめる オクラ

板木技術士事務所 ● 板木利隆



夏を越して晩秋まで果実（莢果）を取り続けることができ、フヨウに似た黄色い花は観賞用としてもめでられ、家庭菜園や庭先、プランター栽培共にお勧めです。アオイに似た花は観賞価値もあり、秋遅くまで咲き続けます。花も実もある重宝な野菜といえます。

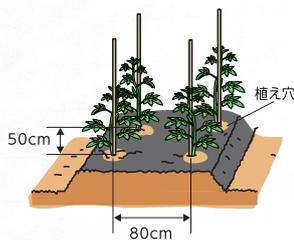
独特の粘りがあり、夏のスタミナ補給にうってつけの野菜として知られています。食べ方は刻んで生のままでだけでなく、ゆでたり炒めたり、サラダやてんぷら、みそ漬け、かす漬けにと、使い道が広いのも魅力です。

高温性で昼は25～30度、夜は20～23度が適温で、10度以下の低温では生育がまったく停止し、葉が黄変、落葉してしまいます。畑に植えたが一向に伸びず、落葉、枯死するという声がよく聞かれるのは、苗が低温に遭っていたり、植えた畑が寒過ぎたりした場合が多いのです。これを水不足と勘違いして水をやり過ぎると地温がさらに下がり、過湿となり立ち枯れ病が発生したりして失敗を助長してしまいます。

育て方のポイントは、苗は3号ポリ鉢に、一晩水に浸した種を4～5粒まき、20度ぐらいい加温して育てるか、市販の苗を買い求め、暖かい場所で再育苗し、十分暖かくなってから畑に植え出します。最近はずいぶん早くから店頭で苗が並びますが、買い急ぎは禁物、失敗して再び苗を求めなくてはならない状態になってしまいます。

図のように黒色ポリフィルムをマルチし、地温を上げてから植えることをお勧めします。

オクラの育ちをよく見ると、初期には枝分かれせず、1株当たりの花・果数は少ないので、それを補い、早期収量を高めるために、畑



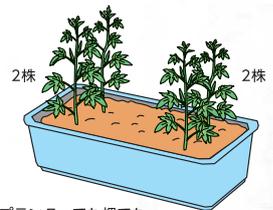
でもプランターでも、1カ所に2株ずつ植えることを勧めます。前半は葉もあまり込み合わないのので、これでちょうど良いのです。

盛んに育ち枝が伸びだしてきたら、主枝の上の方を摘除し側枝に日を当て、健全に伸びるようにします。

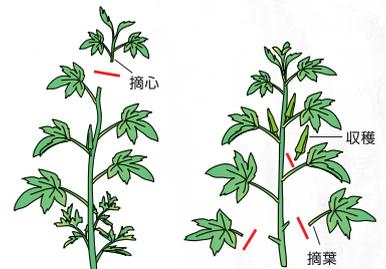
半月に1回、1株当たり小さじ1杯ぐらいい成肥料を追肥します。

近頃各地で葉を筒状に巻き食害するワタノメイガの発生が見られます。発見次第捕殺するか、適応殺虫剤を散布して防ぎましょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



プランターでも畑でも1カ所2株ずつ植える



株が大きく育ったら主枝を摘心し側枝を伸ばす

果実を収穫したらその下方の葉は摘み取る

【お詫び】

J Aしまねびより3月号家庭菜園の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

「文書最後から3行目」

(誤) 特に畑が酸性気味の場合

(正) 特に畑がアルカリ性気味の場合



出雲⇄函館

初就航

直行チャーター便で行く!!

100万ドルの夜景の街 函館

4Tour 5大おすすめポイント

- 1 出雲縁結び空港より FDA チャーター便にて函館へひとつとび!!
- 2 チャーター便利用で時間のロスなく函館に移動でき、通常の定期便ツアーより函館観光をご満喫いただけます。
- 3 パリエーション豊かなコースをご用意! (片道チャーター便企画を含む全6コースをご用意しております)
- 4 全コース、世界三大夜景のひとつ「函館」夜景見学へご案内いたします。
- 5 全コース、2泊(Eコース 3泊)とも2名様より1部屋をご用意!

地元空港～函館線の直行チャーター機利用
通常は定期便利用で(乗継時間も含む)4～5時間かかるところ、往復とも函館まで直行チャーター機利用で楽々!!
(D・E・Fコースは復路のみ利用)

【往路】約1時間45分
【復路】約2時間



あなたのお好きな
まだ訪れていない
旅がきっとみつかるはず!!

コース	ツアータイトル	出発日(平成30年)	旅行代金 <small>大人名1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港発着(往送)</small>
Aコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 津軽・下北みちのく二大半島めぐり (3泊)	6月3日(日)・6日(水)	139,800円
Bコース	北海道南西端に浮かぶ 奥尻島と 世界三大夜景 函館・洞爺湖・大沼 (3泊)	6月 3日(日)	139,800円
Cコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 北海道の名湯 登別温泉 (3泊)	6月 6日(水)	129,800円
Dコース	東北縦断 中尊寺・十和田・奥入瀬と 世界三大夜景 函館・湯の川温泉 (3泊)	5月31日(木)	139,800円
Eコース	東北縦断 松島・中尊寺・十和田・奥入瀬と 世界三大夜景 函館・湯の川温泉 (4泊)	5月30日(水)	159,800円
Fコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 札幌・小樽・洞爺湖 (3泊)	5月31日(木)	129,800円



掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!



株式会社農協観光

JAしまね 旅行センター本部 ☎0853-25-8907 JAしまね 出雲 旅行センター ☎0853-21-3305 JAしまね 島根おおち旅行センター ☎0855-83-0008
 JAしまね やすぎ 旅行センター ☎0854-28-6699 JAしまね 斐川 旅行センター ☎0853-73-9625 JAしまね いわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820
 JAしまね 雲南 旅行センター ☎0854-42-9118 JAしまね 石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501 JAしまね 西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

JA女性組織フレッシュミズ・JA全農 コラボ企画

エーコープ ほめられ酢

- ✓ 万能酢なのでこれ1本で和洋中が簡単に!
- ✓ 柔らかな酸味で後味さわやか!
- ✓ お子様も食べやすく安心!
- ✓ 国産原料にこだわり、最優先に使用!
- ✓ 手軽に使える手持ちサイズ、使い切りにいい300ml!
- ✓ 食卓において毎日の料理にプラスワン!

【フレッシュミズの思いをのせて】

フレッシュミズ開発担当者と全農が開発協議を重ね「小さなお子様やお酢が苦手な人にも食べやすい商品にしたい」「国産原料、アレルギー物質等にこだわり安心できる商品にしたい」との思いが商品になりました。

本商品は、第63回JA全国女性大会(30年1月24日開催)において、全国の女性組織の皆様へ盛大なお披露目が行われ、会場では「簡単、便利でネーミングのとおり“ほめられる”お酢だね」など、好評をいただきました。

簡単! 便利!
ほめられ酢!



レシピ
WEB公開中!

商品はくらしの宅配便やお近くのAコープ、JA 購買店舗、直売所にてお買い求めいただけます。

さくら餅



薄く生地を焼くのがポイントです。桜の葉を巻いたら市販の桜餅にも負けない出来上がりです。

●材料 (10個)

米粉	60g	サラダ油	少々
白玉粉	30g	こしあん	200g
水	150cc	桜の葉塩漬け	10枚
砂糖	40g		
食紅	少々		

●作り方

- ①こしあんは一口大に10個まるめておく。
- ②ボールに米粉、白玉粉、砂糖、水を入れダマがなくなるまで混ぜる。
- ③水で溶いた食紅を少し入れる。
- ④フライパンに油をひき③を薄く楕円形になるように流し入れる。
- ⑤裏側が焼けたら竹具しか爪楊枝でひっくり返す。
- ⑥フライパンから出し、きれいな面を外側にして、こしあんを包み塩抜きした桜の葉で包む。

たけのこの味噌チーズ焼き 3種味



たけのことチーズは相性抜群です。和食に使うことが多いたけのこ、洋風にしてもおいしいですよ。とろけるチーズの上に好きな物をかけていろいろアレンジを楽しんでみてください。

●材料 (4人分)

たけのこ	250g	A 七味唐辛子	適量
味噌	小さじ2	B 木の芽	
砂糖	小さじ1	C ごま	少々
とろけるチーズ	適量		

●作り方

- ①たけのこを茹でる。または水煮のたけのこを準備する。たけのこを味噌、チーズを乗せやすい大きさに切る。
- ②味噌と砂糖をよく混ぜる。
- ③たけのこの上に砂糖を混ぜた味噌を、薄くまんべんなく塗る。
- ④③にとろけるチーズを乗せる。
- ⑤たけのこをオーブントースターまたはグリルに入れ、およそ5~7分程度焼く。
- ⑥仕上げにAの七味唐辛子又は、Bの木の芽、Cのごまをそれぞれふる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直道 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、安来市にある中海干拓安来干拓地から望む早春の大山です。安来干拓地(約128ha)は、農林水産省が昭和38年から進めてきた中海干拓事業により、米子湾の一部を干陸して造成された干拓地であり、大規模な畑作営農が展開されています。主な農産物はキャベツ、ブロッコリー、いちご、トマト等です。また、古来より山岳信仰が盛んな大山は、今年、開山1300年を迎えます。山麓には西日本最大級のブナの原生林が広がり、降り注ぐ雨や雪は、ゆっくりと地面を伝い、生命の水となって流れていきます。

編集後記

シュンランとの出会いは、約40年前、日原町農協婦人部の総会の場でした。数日後、我が家の雑木林を探すと人知れず凍と咲いており、とても感動的でした。野に山に出かけやすい季節となりました。忙しいからこそ、自然の恵みに感謝しながら、心豊かに過ごしたいものです。(星)



【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

